

KOCHI 2012 ROTARY 2013 CLUB SINCE 1937



2012-13年度国際RIテーマ

週報



Weekly report 第3090回

2012年8月21日 2012年8月28日発行

● 会長挨拶



暑い日が続きますけれども、高知では一宮土佐神社の志那弥様が過ぎると秋が来ると言われています。確かに先週末辺りから空を見上げると、そろそろ季節の変わり目の気配が漂い始めています。

先週の8月15日は昭和20年8月15日と同じ水曜日で、同じく暑い日だったようです。ただ、この日をなぜいつまでも終戦記念日と呼ぶのか不思議でなりません。敗戦記念日が本来の呼び方だと思います。物事を有りのままに見ようとしなない日本的すり替えの感覚が、戦時中、撤退を転進、全滅を玉砕と呼び代えて美化していました。今も何も変わっていないように思います。嫌なことであっても現実をきちんと受け止めない限り、私たちは何も学ぶことができません。きちんと受け止めず、何も責任を持たないで済むような、そんな表向きの取り繕いを重ねていくということ、不作為、先送りというのは、原発事故であれ、領土問題であれ、これまでの失敗を繰り返すようで心配でなりません。

仕事関係の台湾の方と話をしている、台湾も韓国も同じ時期、長期統治を受けた時代を過ごしたのに、なぜ台湾だけが日本に対して親近感を持ち続けているのかという話になりました。彼が言うには、蒋介石率いる中国軍の余りの残虐、不法ぶりと比較して日本の良さを再認識した。そんな感覚があったようです。それに比べて韓国は、日本が出て行った後の朝鮮戦争の結

果で、国を分割され、棚ぼた式に他国の支配を受けずに、形の上では独立をした。結局、比較することもなく、中途半端な他力本願になってしまった。その辺の自信のなさとか屈折した思いを、日本への恨みとしてあげつらうことでプライドを保ち、解消しようとしているのではないか。台湾人から見ると、ちょっとだだっ子みたいに見えますね。と言って笑っていました。

ベトナムについても、ベトナム植民地に関する戦争直前当時のことを書いた報告書や雑誌記事の翻訳を読むと、ベトナム人が日本に尊敬にも似たような親密な気持ちを持っているのは、あれほどの長きにわたって武力侵略し、抑圧、略奪、残虐の限りを尽くしたフランス植民地時代に、アジア人で唯一、日本という国がそのフランス人に対峙して、頭を下げさせるという、当時で言えば奇跡を見せられ、さらに進駐した日本軍の規律の高さに驚かされたということが原点になっているようです。

ベトナム人にとってのベトナム戦争は、当時、永遠に不可能だと思っていたフランスからの独立の戦いを日本人に触発されて、その延長戦として戦ったということを知りました。

日本の今が決して戦後始まったわけではなくて、数世紀前という昔から第二次大戦の後まで延々と続いていた、西洋列強の貪欲な侵略、そして過酷な収奪競争の中で、明治維新から日清、日露、第一、第二次大戦と日本の生存を賭けた大きな歴史の渦の中から形づくられてきたことを再認識しました。

本日の卓話は「心豊かに生きる」と題して、たんぼぼ教育研究所代表の大崎博澄さんをお願いします。

高知クラブが心を1つにして支える 関裕司ガバナーエレクト

■活動報告

- ・8月18日(土)・19日(日) 2670地区IAC(インターアクトクラブ)年次大会/徳島
- ・8月22日(水) 大安吉日 ◎関ガバナーエレクト事務所開き
- ・8月26日(日) 長期交換「帰国学生報告会及び第一回受入学生オリエンテーション」/観音寺
→4ページ目に関連記事
- ・8月31日(金)・9月1日(土) 第11回 日韓親善会議/東京



8/26 帰国学生報告会及び第一回受入学生オリエンテーション

■本日のプログラム [8月28日]

ゲストスピーチ

(有)ほにや 代表取締役 泉 真弓氏
「高知の宝“よさこい”の未来は…?」

会 長	千 頭 邦 夫
副 会 長	広 末 幸 彦
幹 事	中 村 裕 司
副 幹 事	前 田 道 雄
会報責任者	吉 門 文 恵

● **ロータリーソング**「我らの生業」

● **今週のピアノ曲**「故郷によせて」 ピアノ演奏：山内り会員

● **お客様**

燦燦奨学生 戸田翔太さん 後藤麻友さん



◆ **お客様挨拶**

◎ 戸田翔太さん

高知大学人文学部人間文化学科4回生の戸田翔太です。お陰様で4回生まで無事に通うことができました。元々は教員志望だったのが、近代文学の研究をずっと専攻してきて、どんどん文学の方に傾いてしまっていて研究を続けたいと思い、最近は大学院を目指して勉強しています。



◎ 後藤麻友さん

高知県立大学看護学部4回生の後藤麻友です。大学では授業の履修が終わり、現在卒業研究と2月の国家試験に向けて勉強に励んでいます。先月の7月に就職試験を受けて、来年4月からは近森病院さんの方で看護師として働くことになりました。残りの学生生活も頑張っていきたいと思います。

◆ **委嘱状伝達**

吉村貴志会員 (2012-13年度米山記念奨学委員会委員)



● **社会奉仕委員会より**

地区協議会でも、昨年に引き続き東日本大震災への支援がテーマに上がっています。今年、よさこいの本祭に福島県の浪江町からワンダーなみえというチームが踊りました。このチームに対して、高知RCから10万円の支援をいたしました。9日に、代表者にお渡ししましたのでご報告いたします。



● **国際奉仕委員会より**

19日の日曜日、本年度の長期交換留学生のルピタ・ロドリゲスさんが高知に無事到着いたしました。今、第一ホストファミリーの西山彰一さんのお宅でお世話になっています。これからの3ヶ月間よろしくお願い致します。



今年の長期交換事業、クラブをあげて応援したいと思いますので、ご協力よろしくお願い致します。

● **ガバナーエレクト事務局より**

ガバナーエレクト事務所開きを明日行います。住所、電話、メール等々は本日の週報に掲載しています。まだ事務局員が決まっていますが、早く決めて常駐することとしたいと思います。



● **会長報告**

ガバナーノミニニーに松山北RC、佐々木善教氏に決まったと報告がありました。

● **幹事報告**

- ・ 9月のロータリーレートは1ドル80円
- ・ 情報集会について、本日中にFAXで連絡。
テーマは「高知クラブが心一つにして支える関裕司ガバナーエレクト」





● ゲストスピーチ

心豊かに生きる

たんぼぼ教育研究所代表 大崎 博澄 氏

私は、ほぼ最悪の生い立ちで、青壮年期も随分悩み多く過ごしました。そして、2人の子どもが心の病気に罹るという最悪の晩年を過ごしています。それなのに、長年の夢を実現して、自分をヒタヒタと包む不思議な幸福に満たされています。



今の私にとって、お金をたくさん使って人生を楽しく生きることがほぼ絶望的ですが、どんな貧しい境遇におかれても、どんなに人生のピンチにおかれても、心豊かに生きることができると思います。

私が幸福に生きる流儀のその1は「意のまま、ありのまま」ということです。家がものすごく貧しかったので、3つの高校に在籍して5年かかって卒業しました。その最後が高知商業高校の夜間でした。ここで1人の若くて美しい国語の先生に出会いました。教育というのは、先生と生徒の信頼関係が出来上がった時に初めて成立します。この先生との間に不思議な信頼関係ができました。それまで、僕は作文を書くのが苦手でした。作文は生活の真実を書かなければ、人の心は打てません。ところが自分の生活は恥ずかしいことばかりで作文は嫌だったのですが、この時に初めて、自分が今までひた隠しにしていた他人に言えないこと、恥ずかしいことを全部カミングアウトすることが、何のためらいもなくできました。これをしっかり先生が受け止めてくれた。友達も受け止めてくれた。これが、僕がありのままという流儀を獲得する第一の契機になったと思います。

もう一つは、自分の子どもが高校2年で学校に行けなくなりました。それから引きこもり、精神障害となりましたが、僕は当時勤めていた県庁で、それをオープンにしました。というのは、いつ家内から、息子が暴れているという電話がかかってくるか分からない。その時は、仕事を放って帰らなければいけない。だから、異動の度にあらかじめ上司や同僚にオープンにしたんです。その時の上司は、僕の事情を受け入れて、よく話してくれたと言ってくれました。自分の恥ずかしいことを全部さらけ出して、ありのまま自分を飾らずに生きると、とても素晴らしい人に出会うことができる。自分を支えてくれる人がたくさん現れるということを経験しました。

第2の流儀は「聞くことに徹する」ことです。人付き合いが下手で要領の悪い私が県庁のややこしい人間関係の中で生き延びるのはなかなか大変でした。ところが、誰もみんな自分の話を聞いて欲しいと思っているんです。そこで、僕は徹底して話を聞く方に回った結果、よい人間関係がどんな人とも築けることを発見しました。県庁にはたくさんの方々が怒鳴り込んで来たりします。そんな人の話を1時間でも2時間でも聞いてあげると段々落ち着いて、怒りも収まってきます。最後には友情が育ちます。

その中で、聞くための2つの極意を発見しました。1つは

相手の話の中に自分と共通する感心事がある。それを見つけて聞くこと。2つ目は、相手が少ない言葉しか持っていない時、空白の部分自分を持っている言葉を当て嵌めて、補って聞くと、その人が言おうとしていることが分かるようになります。聞く極意を満たすためには、自分の脳内辞書を豊かにしておくことに意味があり、人に対して思いやりや優しさの原点にもなります。

第3の流儀は「自分を見失わない」ことです。とことん協調し、とことん譲りながら自分を見失わないというのは一見矛盾しているように見えますが、しっかりした自分を持っていればこそできることだと思います。たんぼぼに相談に来る子どもたちの多くが自分を見失っている、あるいは自分を作り上げることができないでいます。大学生でも主体的に学ぶ意欲がない、教えてもらうのを待っている学生が圧倒的に多い。自分づくりができていない。これが現代の教育の最大の課題だと思います。自分づくりがしっかりできれば、子どもたちは例えば学校に通えなくても社会的自立を果たして、りっぱな社会人になれます。困難や挫折を乗り越えて、人とよい人間関係を築いて生きていくことが、子どもたちが幸せになるために一番必要なことです。それには、自己肯定感、自尊感情、自分づくりだと思います。

では、どうすればそれができるか。マニュアルはありません。長い育ちの中で子どもたちが自分で獲得していかなければなりません。僕が生まれた1945年前後までは、子どもたちにとって豊かな生活体験、とことん遊ぶといったチャンスがありました。今は残念ながら、早くから塾へ行ったり、習い事、部活動等々、忙しくて、そういうチャンスを得られない。ぜひ、子どもたちによい生活リズム、生活体験、徹底的に遊ぶ経験、そして、覚えるだけの勉強ではない、もっと他の勉強の仕方を身につけて自分づくりができるようにしてあげたい。たんぼぼの願いの1つはそこにあります。

第4の流儀は「ときめき」です。僕の趣味は自然観察です。研究所の隣の公園にはスズメやカラスが飛んできます。それをいつまでも見ていたい。けれど、僕が最大の関心を持って観察するのは人間です。県庁に居るとき、空き瓶にネコジャラシや道端に咲いている花を飾ってくれる人がいました。委託を受けた清掃の方でした。僕になにかあると机に激励のメモを置いてくれました。こういう方に僕はときめきます。こんな人とたくさん出会って、そのネットワークの中で仕事をしていくと質の高い、いい仕事ができると思います。

最後に、僕の詩集のコマーシャルをさせていただきます。

たんぼぼには、本当に行き詰んでどうにもならない人たちがたくさん訪れます。これは、僕が自分の人生経験の中で得たことを全部つぎ込んで、そういう困っている人たち、寂しい人たち、悲しみを抱えている人々を励ますために作った詩集です。これが売れると、たんぼぼ教育研究所がもうしばらく続けられ、もうしばらく、困っている人々を励ますことができます。よろしく願います。ありがとうございました。

◇ 例 会 変 更 ◇

高知南RC	8月30日	夜間例会(阪)	高知北RC	9月10日	例会場変更(三)
高知RC	9月11日	例会場変更(三)	高知中央RC	9月20日	夜間例会(城)
高知西RC	9月28日	夜間例会(三)			

※サインメーカーキャップのできるホテル (三)… 三翠園 (城)… 城西館 (阪)… 高知新阪急ホテル (旭)… ホテル日航高知旭ロイヤル

◇ 出 席 率 ◇

	総数	出席	欠席	メイクアップ	出席率
8月21日	(-7)87	60	7	13	91.25
8月7日	(-8)87	58	10	11	87.34



 ニコニコ箱

- 山崎広一郎 今日の燦燦奨学生の2人、戸田君と後藤さんが例会に出席してくれました。久しぶりに見る2人はもう4年生です。委員会は河野会員に続いて2期目の2人を選考しました。立派に成長した2人を見て、これからは楽しみになります。若いお二人には、卒業まで時々例会に参加して、ロータリークラブのメンバーと仲良くしてってください。
- 西山 彰一 長期交換学生、ルピタ・ロドリゲスさんが無事到着し、順調に新学期に向けて準備をしております。日本食、特にお寿司が好きです。日本語は少し読み書きができ、これからが楽しみです。皆様、どうかよろしく願い申し上げます。
- 西岡進一郎 7月29日、土佐CCで良い事がありましたので、ニコニコします。戦利品です。
- 大久保千堯 先日の花火大会では、大変お世話になりました。お礼のニコニコです。
- 中村 裕司 8月9日の花火大会、小山会員からたくさんのビールの差し入れをいただきました。夕涼み、花火県ぶる、アサヒビール。孫と過ごす至福の時間、土佐の夏、感謝です。
- 松崎郷一郎 妻の誕生日にきれいなお花をありがとうございました。
- 古谷 一 明日は妻の誕生日。素敵な花を届けていただくので、今からドキドキしています。どんな反応を妻がするのか？あたかも自分がプレゼントしたような顔ができるのか？でもきっと妻はこれまで見たことのないニコニコ顔をしてくれると思います。

◇8月26日(日) 長期交換「帰国学生報告会及び第一回受入学生オリエンテーション」／観音寺



31名が参加、席上、関ガバナーエレクトは受入学生達に対し「私は45年前に覚えた英語で40か国の人々と交流している。言葉(日本語)を習得し、日本の考え方や文化を大いに学んで欲しい。」と英語で激励されました。なお、ルピタさんの市内7クラブ訪問が今週から始まり、9月15日(土)PM6:30～歓迎会を予定しています。

● 累計額 [8月21日現在]

ニコニコ箱	190,500円	ロータリー <small>さん</small> 燦燦基金	28,161円	ポリオ募金	32,900円
-------	----------	------------------------------	---------	-------	---------

■次週のプログラム [9月4日]

ゲストスピーチ
四国森林管理局長 新木 雅之 氏
「森林と木材利用の話」

創 立 昭和12年10月
例 会 日 火曜日 12:30~13:30
例 会 場 三翠園ホテル TEL(822)0131
事 務 局 高知市本町3丁目2-15 高知新聞放送会館1階
TEL(824)8660 FAX(824)2529
HPアドレス <http://www.221.ne.jp/kochirc/>